

大分オリジナルバンダナができるまで

バンダナに込めた思い。自分の障害を繰り返し説明しなくても身に着けるだけで伝わるデザインは、東京の墨田区聴覚障害者協会と手話サークル「すみだ」が、他の団体が使わない配色で目立つものを、と考案したものです。

大分オリジナルとして盲ろう者のコミュニケーション方法と「筆談します」を盛り込ませていただきました。手話サークルの例会時に手の平マークに刺しゅうをするなどの工夫を提案し、手話に自信が無くても「筆談」での支援など、支援する側も自分にできる範囲のコミュニケーション方法を表示できるようにしました。

また、他県で災害に遭っても大分県人と分かるように大分の文字入りにしています。

バッグに1枚忍ばせていざという時にお役立てください。
(久松 久仁子)



ぶんご梅



我が家の鍋

森崎 百合子

我が家には、友人の勧めで買った鍋のセットがある。もう、三十年以上も前の、仕事・子育て・家事に追われていた頃のこと。

購入後しばらくして我が家を訪れた友人は、汚れがこびりついてしまったその鍋を見て「仕事で忙しいかもしれないけど、鍋は磨いてね」と言い、金たわしとクレンザーを置いていった。

私は、せっせと鍋を磨き、再び訪れてきた友人にピカピカになった鍋を得意気に見せた。すると友人は、「料理してないんじゃないの？仕事しても、料理はちゃんとしてね」と言い、今度は、時短料理のレシピ本を置いていった。それなりに料理はしていたし、鍋も綺麗になったので、褒めてもらえるとはかり思っていた私は、苦笑いするしかなかった。

結局、その友人にとって我が家の鍋は「仕事を持つ女の鍋」。汚れていようが、綺麗に磨かれていようが、決してお気に召すことはなかったのだらう。

偏見や先入観を持たずに物事を見るようにしたいと思わされた出来事だった。

ぶんご梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。

障スポで情報保障



事前準備の様子を
のぞいてみました！



いただいた資料から1文字1文字模造紙に書き写す作業。
この地道な作業が、当日の情報保障につながるのです。

ホワイトボードに書式を作成。効率よく情報保障
するためには、いかにすべきか…知恵を絞ります。

※事前準備に延べ18名が参加。ご協力ありがとうございました。

「第14回大分県障がい者スポーツ大会」

5月19日水泳、5月26日総合開会式・卓球・フライングディスク、6月2日陸上の各競技等に、ボランティアとして陽ざしの会から延べ22名が参加しました。

水泳

担当は3名。開閉会式・ウォーミングアップはプールサイドで、それ以外は、エントランスホールでの情報保障でした。

スタート練習のアナウンスで「※◎□△&・ピッ（笛の音）」
「えっ何?! 聞き取れない!!」3名とも目が点。何度か聞くうちに「テイク ユア マーク?! 今どき『位置について、用意…』なんて言わないんだ。」とまた一つ学びました。

エントランスホールでの招集では、準備した書式のホワイトボードが大活躍でした。（森崎 百合子）



総合開会式

開会式は、令和元年にふさわしく、新設の昭和電工武道スポーツセンターで、県民体育大会との合同で行われました。

今回は、例年とは変わり「情報保障席」ではなく、パソコンによる「選手団」に向けての情報保障となりました。

広くて、明るい新会場に対して「13文字太字」で対応など、県担当者、センター担当者、メンバーとの綿密な打ち合わせが行われ、無事乗り切ることができました。養生テープを使えない、ボックス等をフロアーに直置き禁止など、新しいが故の制約も多々ありますが、天井のはりには日田杉が使

われた、素晴らしい競技場で行われた開会式でした！（三重野 真由美）

